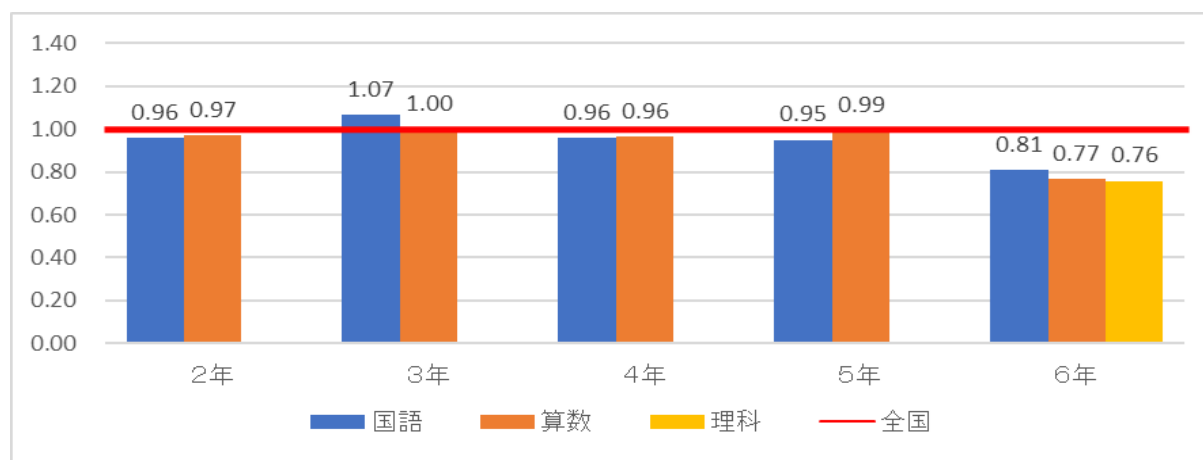


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第八中学校区 点野小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「書くこと」については、複数学年で全国平均を上回った。引き続き、児童が伝えたい内容を整理して書く学習活動の更なる充実を図っていく。
	算数	「式と計算」領域については、複数学年で全国平均を上回った。基本問題から応用問題にも対応できる力を身につける指導を充実させる。
全国学力・学習状況調査	国語	「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均に近い結果であった。引き続き、振り返りの場面において、自分たちの話し合いの様子を確かめる活動を設定していく。
	算数	「数と計算」領域では、日頃の基礎学習が定着してきた結果が見られた。今後も日常の事象を数理的に捉え、数学的に問題発見・解決する学習活動を充実させる。
	理科	「地球」を柱とする領域では、理解度が上昇傾向にある。今後も実験などの実物教材や実習を通して、科学的な思考力を養う。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に、「全くしない」と回答した児童の割合は、年々減少傾向にあることから、引き続き家庭と連携し、家庭学習の取組を進めていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

定期的に公開授業を行い、校区の子どもの実態把握に努めている。また、課題の共有と対応策の構築を図るとともに、授業力向上に向けて取り組んでいる。家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。個別最適な学びを推進するために、個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【 学 校 】

少人数授業、複数教員によるきめ細やかな指導の実施や放課後学習会・個別指導などサポート学習の拡大により、基礎・基本を着実に定着させていく。また、協働学習などを効果的に取り入れ、授業改善を推進する。さらに高学年を中心とした教科担任制を実施しており、専門性の高い教科指導を更に充実させていく。